

大学コンソーシアム石川と県は、9月4日に金沢市のしいのき迎賓館で開催する公開シンポジウムの参加者を募集している。今年6月、地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェク
トマネジャーである川口淳一郎宇宙航空研究開発機構の経緯などを語る。対象は大学生のみが対象。サテライト会場として中継映像を流す金城大、小松短大、金沢高専は一般参加者も呼び掛け、参加を呼び掛ける。対象は大学生に加え、一般にライト会場として中継映像を流す金城大、小松短大、金沢高専は一般参加者も呼び掛ける。

「はやぶさ」講演 参加者を募集

来月、金沢で開催

トカワ」まで往復60億、7年かけて世界初の快挙を成し遂げたプロジェクトの内容を紹介する。申し込み、問い合わせは、ケイ・シー・エス76(262)2611まで。

「はやぶさ」から人生学へ

9月 大学コンソーシアムがシンポジウムを開催する

大学コンソーシアム石川教授が、事業成功に至ったと県は9月4日、金沢市の経緯などについて語る。しいのき迎賓館で県内の学生を対象としたシンポジウム学都石川で学ぶ君たちへムを開催する。6月、地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェク
トマネジャーである川口淳一郎宇宙航空研究開発機構

プロジェクトマネジャー 川口教授が講演

年遅れとなったが、小惑星「イトカワ」まで往復7年、60億を旅し、世界初の快挙を成し遂げたプロジェクトの内容を紹介する。定員は300人。しいのき迎賓館のほか、サテライト会場として金沢工大、小松短大、金城大の3会場では中継映像を流す。締め切りは8月18日。申し込み、問い合わせは、ケイ・シー・エス76(262)2611まで。